

令和6年（2024）3月1日～3月5日

令和5年度（2023）

第5回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

令和5年度（2023）第5回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表 目次

3月1日（金） 10:00 開会			3月4日（月） 10:00 開会			3月5日（火） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	錦 織 稔	3	1	湯 淺 啓 史	10	1	木 佐 宏	17
2	高 橋 扶治夫	4	2	湯 浅 万里子	11	2	玉 木 満	18
3	大 場 利 信	5	3	伊 藤 繁 満	12	3	寺 本 淳 一	19
4	大 谷 良 治	6	4	今 岡 久 人	13	4	板 倉 一 郎	20
5	福 田 実	7	5	児 玉 俊 雄	14	5	本 田 一 勇	21
6	川 上 幸 博	8	6	福 島 孝 雄	15	6	吉 井 安 見	22
7	今 岡 真 治	9	7	宮 本 享	16			

質問者	13 錦 織 稔
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市沖合地震による災害廃棄物処理について	
<p>① 能登半島地震による災害廃棄物は、想定を大幅に上回り約240万トンにも上ると推計されています。この大量の廃棄物を適切に処理するために、現在、各自治体にある仮置き場に災害廃棄物が集められています。今後、陸上や海上で県内外の処理場に輸送され、2025年度末までに処理が完了する予定です。本市においても島根半島の沖合に断層があり、地震・津波の被害が想定されています。出雲市災害廃棄物処理計画における災害廃棄物発生量と処理について伺います。</p> <p>ア 能登半島地震の災害廃棄物の発生状況から、出雲市災害廃棄物処理計画における災害廃棄物量の試算をどのように評価されていますか。所感を伺います。</p> <p>イ 災害応急対応について、仮置場が確保されているのか。特別対応が必要な廃棄物である太陽光パネル、蓄電池等の処理の見通しを伺います。</p> <p>ウ 災害復旧・復興等において、災害廃棄物の広域的な処理・処分について他自治体と連携が取れているのか伺います。</p> <p>エ 災害廃棄物処理「東松島方式」においては廃棄物の97%をリサイクル処理され、「混ぜればごみ、分ければ資源」という合言葉のもと、東日本大震災発生直後から分別と収集の仕組みづくりに取り組みられました。本市も参考にすべきと思いますが、市の考えを伺います。</p>	
(2) 廃棄物の抑制、再利用、再生利用（3R）の推進を	
<p>① SDGs（持続可能な開発目標）は、地球環境を保護し、貧困を撲滅し、質の高い教育を実現するなど、17の目標で構成される国連の世界共通の目標です。これは2030年までに達成することを目指しています。2023年はSDGsの15年間の期限の折り返し地点にあたります。出雲市環境総合計画では、基本目標の一つに“「もったいない」の心で築く3Rのまち”を掲げています。その中で、「家庭系ごみの排出量は、横ばいで推移しており減少していない。事業系ごみの排出量は、令和2年度から減少しているが、事業活動の再開やコロナ慣れ等の要因により、今後、増加することが想定される」とあります。3Rの取り組みについて伺います。</p> <p>ア 第3次出雲市ごみ処理基本計画には、「資源ごみであるびん類が埋立ごみに多く混入していることを確認した。引き続き適正な分別の啓発を行っていく必要がある」と今後の課題が記載されています。適正な分別の啓発の取り組みを伺います。</p> <p>イ ごみ排出の抑制、資源化は、市民・事業者の協力が必要と考えますが、取り組みを伺います。</p> <p>ウ ごみ出しおたすけアプリ「さんあーる」の普及状況を伺います。</p> <p>エ プラスチック資源化の取り組みを伺います。</p>	

質問者	7 高橋 扶治 夫
質問事項・質問内容	
(1) 認定こども園と小中一貫教育への取組みについて	
<p>① 出雲市として、幼稚園と保育園の統合による幼保連携型認定こども園やその他の幼稚園型、保育所型など、多様な認定こども園が増えるよう推進し、支援していくべきと考えますが、所見を伺います。</p> <p>② 「義務教育学校」及び「小中一貫型小学校・中学校」の導入校が全国的に増加しています。出雲市としても検討していくべきと考えますが、所見を伺います。</p>	

質問者	22 大場利信
質問事項・質問内容	
(1) 市内産農産品の輸出について	
<p>① 対外経済交流、特に食・農産品の交流について、アジアでは、特に「日本のコメ」、「シャインマスカット」、「青森りんご」に人気があると聞いています。2月3日にJAしまね斐川地区本部主催で鈴木農林水産副大臣の講演会があり、テーマは「コメ輸出の拡大の必要性」でしたが、コメ輸出に限定せず、農産物輸出全体におよび、「青森りんご」が輸出により栽培面積を維持している例などを力説されました。会場の若手、中堅農業者の方から物価高騰対策をはじめとする国内対策を含めた幅広い質問があり有意義な研修会でした。</p> <p>出雲市にも「柿」、「シャインマスカット」、「デラウェア」、「イチジク」などの有名な農産品がありますが、これらの農産品の輸出拡大の可能性について、以下伺います。</p> <p>ア 対外輸出の出荷先等について現状を伺います。</p> <p>イ 対外輸出には、生産面や流通面でクリアすべき様々な課題があると思います。これについて伺います。</p> <p>ウ また、行政手続面の課題についても伺います。</p> <p>エ 今後の産地の維持及び担い手の拡大に大きなメリットがあり、積極的に取り組むべきと考えますが、これについて伺います。</p>	
(2) 出雲市における成年後見制度の利用の状況について	
<p>① 成年後見制度は、認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由でひとりで決めることが難しく、支援が必要な人が利用できる制度で、本人の権利擁護を確保するものとして2000年（平成12年）に導入されました。重要な制度でありながら利用率が低いと聞きます。これについて、以下伺います。</p> <p>ア 本市における認知症高齢者、知的障がい者および精神障がい者についての利用状況を伺います。</p> <p>イ 利用しにくい原因は何か伺います。</p> <p>ウ 国（法務省）において利用しやすい制度・運用の検討に入られたと聞きましたが、これについて伺います。</p> <p>エ 成年後見制度は財産管理と身上監護で成り立っています。福祉的な身上監護を推進するため地域で連携するネットワークが必要と考えますが、これについて具体的な考えがあればお答えください。</p> <p>オ 障がい者については“親なき後”の不安の解消を託す制度として、また、認知症高齢者については詐欺や誘惑に引き込まれないよう安全・安心を保障する制度としても期待されています。これについて見解を伺います。</p>	

質問者	16 大谷良治
質問事項・質問内容	
(1) ワーク・ライフ・バランスの気運醸成について	
<ul style="list-style-type: none"> ① これまでの取組 ② イクボス宣言後の具体的な取組内容等 <ul style="list-style-type: none"> ア 「出雲市イクボス宣言企業登録制度」の評価 イ 登録企業拡大に向けた取組と課題 ③ イクボス宣言後、職員のワーク・ライフ・バランスへの意識の変化及び効果について 	
(2) 市役所におけるハラスメント対策について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 市役所におけるハラスメント対策について <ul style="list-style-type: none"> ア これまでの取組 イ 職員間のハラスメント対策に関する現状と課題 ② カスタマーハラスメント対策に関する現状について 	

質問者	3	福田 実
-----	---	------

質問事項・質問内容

(1) 現在の公園の状況と今後の公園のあり方について

- ① 市内の公園も老朽化が進んできたと思います。そこで、現在の公園の状況と今後の公園のあり方について伺います。
- ア 市内にはどのような公園がいくつあり、年間管理費がどのくらいかかっているのかお聞かせください。
 - イ 市内の公園の現状をお聞かせください。
 - ウ 今後の公園の維持管理の考え方をお聞かせください。
 - エ 今後の愛宕山公園の利活用策などありましたらお聞かせください。

(2) 現在の消防署及び消防団の体制について

- ① 昨年12月18日に松江市内で、10階建てのマンションにおいて火災が発生しました。本市においても、見渡すと高層階の建物が、ここ近年非常に増えてきたと感じています。そこで、現在の消防署の体制、マンションでの火災が発生した場合の対処方法などを伺います。
- また、本年1月1日に能登半島で発生した大地震以降、消防団の重要性も再認識されています。ついては、消防団の体制もお聞きします。
- ア 現在の消防署体制をお聞かせください。
 - a 現在の消防署の出場件数を救急、火災に分けて各署ごとにお聞かせください。
 - b 現在、どのような資格取得者が何人おられるのかお聞かせください。
 - c 現在の本市の10階以上の建物の種類（マンション、ホテル等）と、戸数（部屋数）をお聞かせください。
 - d 高層階の建物火災があった場合の対処方法をお聞かせください。
 - e 日頃どのような訓練を行っているのかお聞かせください。
 - f 今後の消防署の体制・強化についてお聞かせください。
 - イ 現在の出雲市消防団の改革についてお聞かせください。
 - a 今後の操法大会のあり方についてお聞かせください。
 - b 報道で総務大臣から全国の都道府県知事、市区町村長に消防団員確保要請が出されたとありましたが、所見をお聞かせください。

質問者	28	川上幸博
-----	----	------

質問事項・質問内容

(1) 出雲市の人口減少対策について

- ① 出雲市が合併してからの人口の推移と出生数及び出生率について伺う。
- ② 人口減少がもたらす社会的、経済的、また、防災、インフラ整備などへの影響について伺う。
- ③ 出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略第1期における総合戦略・人口ビジョンでの成果と、第2期に向けた1期目の課題克服に向け、現在どのように取り組まれているのか伺う。
- ④ 来年度は、第2期の最終年になるが人口減少を食い止める施策の具体策と数値目標の達成度を伺う。また、次期計画での取り組みの数値目標などの方針を伺う。
- ⑤ 健康寿命の延伸や外国人材の雇用により人口の減少には歯止めがかかった感じであるが出生数は減少している。出生数増加に向けた対策と取り組みについて伺う。
- ⑥ 安定した出雲市の人口が、総合振興計画出雲新話2030やまち・ひと・しごと創生総合戦略などの基本であり活力の源でもある。若者に定住してもらう政策はどのようにされるのか伺う。
- ⑦ 令和元年度、市内高校生に対し定住等意識調査が実施されているが、出雲市に住みたくない理由の解消に向けた取り組みと縁を繋ぐための策を伺う。
- ⑧ 女性活躍推進が言われているが、出産後のキャリア継続に対し、市の取り組みと市内業者への理解促進の取り組みを伺う。

質問者	9 今岡真治
質問事項・質問内容	
(1) 子どもたちの教育環境の充実について	
<p>① 出雲市の学校教育は、「第4期出雲市教育振興計画」で5つの施策の柱のもと、様々な取組が進められています。計画期間が令和4年度から令和8年度までの5か年とされている中で、以下の現状について伺います。</p> <p>ア 「確かな学力の定着と向上」について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> a 学力調査の結果から見た成果と課題 b ICT活用教育の状況について c 学力向上への今後の取組について <p>イ 「特別支援教育の充実」について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> a 特別な支援が必要な児童生徒の状況について b 小・中学校における特別支援教育の取組について c 特別支援教育、特別支援学級におけるICT環境整備および活用について 	

質問者	18 湯 浅 啓 史
質問事項・質問内容	
(1) 大型公共施設の管理運営について伺う	
<p>① 昨年9月に行われた令和4年度決算認定審査において、複数の議員から大型公共施設の施設管理についてコスト意識を持って計画的に取り組むべきとの意見が出され、令和5年度9月議会最終日の決算特別委員会の委員長報告に公共施設の適正な管理運営」が盛り込まれた。その中では、「出雲ドームやゆうプラザ、エネルギーセンター、新体育館といった大型施設においては、地方公会計の資産台帳の活用など、見える化ができる仕組みを検討し、今後の計画的な施設管理につなげて欲しい」との趣旨の報告がなされた。以下の点について、考え方を示されたい。</p> <p>ア 出雲市総合体育館の維持管理・運營業務費用と施設利用料の考え方 イ 出雲ドームの長寿命化に資する取組みの展望</p> <p>② 出雲市総合体育館の開館に伴って、出雲・平田・斐川第2の3体育館は5年以内に用途廃止する必要があるが、そこへ至るプロセスを示されたい。</p>	
(2) 第3次出雲市行財政改革大綱の策定について伺う	
<p>① 令和6年4月の策定を目指している「第3次出雲市行財政改革大綱」について、現在素案が示されている。 以下の点について、考え方を示されたい。</p> <p>ア 平成26年4月に策定された「出雲市行財政改革大綱」と今回の「第3次出雲市行財政改革大綱」とでは、考え方や取組みの指針、財政状況などがどのように違うのか</p> <p>イ 今後、大綱に基づく実施計画が策定されるが、具体的な取組みを管理し検証していく方法として、現在の組織は適切か</p> <p>ウ 行財政改革大綱と実施計画は期間を定めて定期的に改定が必要だが、今後も大綱を10年間隔、実施計画を5年間隔で見直していく考えか</p>	

質問者	4 湯 浅 万 里 子
質問事項・質問内容	
(1) 効率的に働ける介護サービスの現場の実現に向けた取組を伺います。	
<p>① 1997年に介護保険制度が成立、2000年に介護保険法が施行され、高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組みが出来ました。要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など介護のニーズは高まり、核家族化の進行や介護を担う家族の高齢化など、高齢者を取り巻く状況は今もなお変化し続けています。また、今後、要介護となる高齢者が増える一方で、現役世代（担い手）は減りますので、介護サービスの現場における人手不足は、さらに深刻さを増していくと考えられます。</p> <p>令和6年度からは、第9期介護保険事業計画が始まります。そこで以下の内容について伺います。</p> <p>ア 介護サービスの現場は限られた人材で対応されており、介護ロボットなど業務を省力化できる機器の導入や、見守りセンサーやケア記録ソフト、インカムなどの活用とそれに伴う通信環境の整備といったデジタル化などによる、介護サービスの現場で働く人の負担軽減が必要となってきますが、市がどのように考えていらっしゃるのか伺います。</p> <p>イ 通所介護（デイサービス）への送迎、訪問介護員（ホームヘルパー）の中山間地域などへの移動は家と家との距離が遠く離れているため、効率が悪くガソリン代もかかります。効率的な送迎や移動方法が必要であると思いますが、市の考えを伺います。</p>	
(2) ふるさと納税について伺います。	
<p>① 令和5年度の寄附額と寄附件数の見込みを伺います。</p> <p>② 新たな寄附者獲得のために実施されている、PR活動、寄附サイトの追加及び返礼品や事業者の開拓などについての令和5年度を取組状況を伺います。</p> <p>③ ふるさと納税型クラウドファンディングについては目的が絞られており、寄附者の思いがより反映される事業だと思えます。出雲市の取組状況について伺います。</p> <p>④ 寄附の申込みの際に、寄附金の用途を指定することができますが、どのような用途の希望が多いのか伺います。</p>	

質問者	23 伊藤 繁 満
質問事項・質問内容	
(1) 山陰自動車道・松江玉造IC～出雲IC間の4車線化の見通しについて伺います	
<p>① 山陰自動車道は、期成同盟会結成から約40年近く要望活動が推進され県選出国會議員、関係機関のご尽力と住民の皆さまのご理解とご協力により着々と整備されてきたところです。島根県内約180kmの内、本年度大田・静間道路、静間・仁摩道路が開通見通しであり、更に令和6年度中には出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路の開通が予定され、令和7年度には三隅・益田道路の開通が予定されています。県内全線開通は一部の区間が未定ですが概ね、ミッシングリンクは解消される見通しとなってきたように考えます。まちづくりを進めるうえで高速道路の供用は重要な柱であり、人、モノの流れを含め物流の円滑化、経済活動の加速化、救急搬送業務の迅速化等、経済効果は計り知れないほど大きいものがあります。しかし、現在、完成している区間は片側1車線道路であり事故発生時の交通規制、道路工事等の交通規制、低速走行車両等により物流搬送が目的地までタイムロスが発生するなど、その効果が十分果たされないことが生じています。斐川IC近くには、令和7年度に新しく出雲斐川インター企業団地の分譲開始が予定されていることから、このような状況を一日も早く解消し経済効果をさらに高めることが求められています。</p> <p>ア 島根県内の山陰自動車道4車線化の状況を伺います。</p> <p>イ 松江玉造IC～宍道JCT～三刀屋・木次IC間の4車線化の見通しについて伺います。</p> <p>ウ 宍道JCT～斐川IC間（平成19年春に供用）は既に20年前に4車線化に対応した用地買収が終わっています。斐川IC周辺に7か所ある工業団地の中には海外に拠点がある企業も多くあり、物流の円滑化は生命線です。魅力ある工業団地づくりを進めていくうえで今後4車線化により経済活動を更に加速させていく必要があると考えます。今後の見通しについて伺います。</p> <p>エ 目的地から次の目的地まで正確に走行できる高速道路が求められています。斐川IC～出雲IC間の4車線化の見通しについて伺います。</p>	

質問者	8 今岡久人
質問事項・質問内容	
(1) インバウンドと国際交流への取り組み方針	
<p>① 先に訪問した台湾での視察を踏まえ、出雲市のインバウンドと国際交流への取り組み方針や将来の目標について伺います。</p> <p>ア 今回訪問した高雄市はとても親日的でありました。特に日本海側との観光や交流などにとっても注目されていました。そこで、今後出雲市は台湾との観光交流についてどのようにお考えなのか伺います。</p> <p>イ 交流は観光だけではなく、食文化であったり、農産品の輸出入といった産業の交流も考えられます。例えば、台湾南部地区での農産フェアなどの開催を通して、産業交流を促進してはと考えますが所感を伺います。</p> <p>ウ 高雄市長は、中学生や高校生等の青少年交流を願っておられました。出雲市は台湾との青少年交流について、どのようなお考えなのか伺います。</p> <p>エ 令和5年度12月議会で、本市のインバウンド政策として、フランスのお客様がターゲットであるとの答弁がありました。これを踏まえ、姉妹都市であるフランスのエビアン市との交流は今後どのように進められるのか伺います。</p>	
(2) 出雲市駅周辺の整備について	
<p>① 出雲市駅周辺の整備等について伺います。</p> <p>ア 出雲市駅南口ロータリーを広く整備して、観光バスの乗り入れを行い、お客様の乗降が出来るようにしてはどうかと考えますが市の所見を伺います。また南口広場において、好天日にはオープンテラスなどを開き、駅周辺の賑わいを作りだしてはいかがでしょうか。広場の有効活用の方策を考えてはどうかと思いますが、併せて所見を伺います。</p> <p>イ 地元住民はもとより、旅行者からも駅周辺には食事をする場所が無いとよく言われます。この対策についてどうお考えか伺います。</p>	

質問者	12 児玉俊雄
質問事項・質問内容	
(1) 地場中小・小規模企業の人材確保策について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 本市の地場中小・小規模企業における労働力需給の動向を伺います。 ② 厚生労働省が推進している「雇用シェア（在籍型出向制度）」に対する市の捉え方と取組状況を伺います。 ③ 経済産業省が推進している「地域の人事部」に対する市の捉え方と取組状況を伺います。 ④ 地場中小・小規模企業の人材確保策では「連携・協力」がキーワードと考えますが、所見を伺います。 ⑤ 本市の地場中小・小規模企業の人材確保のため、新年度に取り組む施策や現時点で検討されている施策を伺います。 	
(2) 自治協会等の魅力向上と依頼業務の負担軽減について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 自治協会とコミュニティセンターへの依頼業務量等の調査の中間報告がまとまったとのことですが、その概要を伺います。 ② 依頼業務の見直しにあたっては、業務委託の拡大等により、必要十分な対価により依頼するという視点が必要と考えますが、実態と所見を伺います。 ③ 自治協会等の魅力向上のためには、どのような役割を果たすべきと考えられているのか伺います。 	

質問者	20 福島孝雄
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市の「子ども食堂」の現状について	
<p>① 「子ども食堂」について伺う。</p> <p>ア 出雲市における「子ども食堂」の地域別軒数を伺う。</p> <p>イ 運営方式を伺う。</p> <p>ウ 新規開設団体の地域及び数を伺う。</p> <p>エ 利用者数の現状を伺う。</p> <p>オ 食材の調達状況を伺う。</p> <p>カ 「子ども食堂」利用の周知状況を伺う。</p> <p>キ 市の支援策を伺う。</p> <p>ク フードバンクとの関わりについて伺う。</p>	
(2) 出雲市農業の現状と将来展望について	
<p>① 斐川地域営農座談会での地域課題について</p> <p>ア 「地域計画」の策定について伺う。</p> <p> a これまでの「人・農地プラン」との関連</p> <p> b 対象総面積、利用権設定農地面積（出雲地域・斐川地域）</p> <p> c 地域内外からの受け手確保対策</p> <p> d 「目標地区」と各種補助金の関係</p> <p> e 中山間地域での進め方</p> <p> f 今後想定される課題</p> <p>イ 条件不利地域での草刈りへの支援について伺う。</p> <p> a 官地除草の負担軽減で水田畦畔の草刈り維持</p> <p>ウ 斐川町農業振興区長・補助員（生産委員）の人材不足について伺う。</p> <p> a 将来展望とあり方の検討</p> <p>② 適格請求書制度（インボイス）開始からの農業者の現状を伺う。</p> <p>③ 営農組織における地域活性化（イベント）企画への支援を伺う。</p>	

質問者	29 宮本 享
質問事項・質問内容	
(1) 須佐神社の遷宮を契機とした観光振興について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 新たな観光戦略について <ul style="list-style-type: none"> ア 概要と進捗状況、これまでの成果について イ 戦略における須佐神社の位置づけについて ② 須佐神社への観光入込客数の推移について ③ 須佐神社の遷宮について <ul style="list-style-type: none"> ア 遷宮の内容（工事、経費など）とスケジュール イ 遷宮に対する財政支援（県・市） ④ 遷宮を佐田地域など南部地域活性化の絶好のタイミングとして考えるが、市としての認識は ⑤ 須佐神社の遷宮を契機とした具体的な観光誘客策について <ul style="list-style-type: none"> ア 周辺施設整備、道路整備（立久恵峡付近の狭隘解消）、案内標識などのハード事業 イ 交通手段の拡充 ウ インバウンド対策 エ 広報の充実 オ 他の観光施設間の周遊、新たな観光ルートの造成 カ 地元や関係団体との連携 	

質問者	15	木 佐 宏
-----	----	-------

質問事項・質問内容

(1) 投票依頼皆無で令和議会に呼び戻された私、全員与党体質に変革と飯塚市政を市民が直視し覚醒を促せる唯一無二の人・主権者皆様へも苦言を呈し、真実を語り職責を果たす！

① 飯塚俊之市長の所信表明に対する、会派代表質問の全てが誰ひとり懐疑的発言皆無。平成の世直し人は具体例を掲げ、主権者の皆様にも責任を問う。

また、長岡市政歪流の飯塚俊之市長の3年間の職務執行上において、主権者に対しての無責任体質が浮き彫りにされている。具体例を掲げて糾弾する。全員与党体質議会運営では主権者は蚊帳の外、平成の世直し人は、真を語り、全市民のための市政の有るべき姿を論破する。

ア 一畑電車・美談地内における越水対策について

イ 美野本線について

ウ 不登校児童対策について

エ 旅伏小学校の用地について

オ 公共施設の維持管理について（公園の遊具、トイレの手すり等）

質問者	10 玉 木 満
質問事項・質問内容	
(1) 「火災注意報」制定後の効果等について	
<p>① 「火災注意報」制定からおよそ1年が経過。昨年の発令状況や効果等について、詳細に伺う。</p> <p>ア 火災注意報の詳細及び制定に至った経過について</p> <p>イ 昨年の発令状況や発令による効果の考察</p> <p>ウ 今後の方向性について</p>	
(2) 進むICTを活用した教育 中学校進学時に目指す到達度は	
<p>① ICTの活用が進む教育。ICT教育が一定程度進展した現在、進学により複数の小学校から生徒が集う中学校では、小学校でのICT機器の活用度によって、差がついてしまうのではないかと不安視しています。</p> <p>ア 市として、この問題をどのように認識しているのか、対応などについて伺います。</p>	

質問者	19 寺本淳一
質問事項・質問内容	
(1) 働き方改革（2024年問題）について	
<p>① 現在の社会情勢において、人手不足や物価上昇などの課題がある中で2019年4月から働き方関連法が順次施行されていますが、特に長時間労働が多いと言われている自動車運送業、建設業、医療業界は本年4月から施行されます。</p> <p>ア 生活に支障が出ると言われてはいますが、出雲市民への影響をどのように分析されているのか。</p> <p>イ 企業の倒産・廃業が増えるのではないかとされていますが、出雲市の経済への影響をどのように分析されているのか。</p> <p>ウ 様々な影響を最小限に抑える必要がありますが、出雲市で何ができるのか伺います。</p> <p>② 本年1月1日に発生した能登半島地震からの復旧・復興に建設業の重要性が増してきています。</p> <p>ア 建設業の人手不足は工期に影響が、物価上昇や賃金上昇は工事発注額に影響を与えていると思いますが今後の出雲市の対応は。</p> <p>イ 市長の施政方針にある防災・減災への強化は重要ですが、有事に対しての復旧・復興についてはどのようにスピード感を持った体制を構築していかれるのか。</p> <p>ウ 出雲市として建設業を維持していくための具体的な施策を伺います。</p>	
(2) 住宅の省エネルギー基準について	
<p>① 住宅の省エネ性能は国で決められた平成28年度基準（断熱等級4）があります。現在は住宅がこの基準を満たす必要はありませんが、2025年4月からは原則すべての新築住宅に対して省エネ基準適合が義務化されます。</p> <p>ア これまで、建設時には適法だった建築物等が以降の建築基準法の改正などで法不適合になった状態を「既存不適格」と呼んでいます。来年の省エネ基準改正によりこれまで適法だった住宅が「既存不適格」となるのか伺います。</p> <p>イ 民間では「既存不適格」となった住宅が相場以下で評価される可能性（資産価値の格差）があると言われてますが、出雲市の資産評価に影響があるのか。また固定資産税にも影響が出てくるのか伺います。</p>	

質問者	27 板倉一郎
質問事項・質問内容	
(1) 地域公共交通計画の推進について	
<p>① 出雲市は、令和5年1月に「出雲市地域公共交通計画」を策定し、令和5年度から令和9年度までを計画の実施期間とされている。その計画について次の点を伺う。</p> <p>ア 出雲市の公共交通の考え方、また計画の内容および実施状況について伺う。</p> <p>イ 個別の施策について次の点を伺う。</p> <p>a 中心市街地の利便性向上について、施政方針の中で路線バスの路線、ダイヤなどの見直し検討を行うとあるが、中心市街地でも高齢者をはじめバス停が遠いため移動に不自由している方への対応は、どのように考えているのか伺う。</p> <p>b 通勤・通学のしやすい環境づくりについて、令和6年度に計画、令和7年度に実施とあるが、現在でも電車とバスの接続に問題があり、利用者から不満の声が上がっている。(例えばJRの松江方面から出雲市駅の到着は8時1分であるが、バスの出雲大社・日御碕方面の出発時刻は、8時00分である。)今すぐ見直しの働きかけをすべきと考えるが、市の対応を伺う。</p> <p>c バス・タクシーの運転手不足の改善について、新年度予算で2種免許取得費助成を盛り込まれるなどの取り組みは評価できるが、人手不足の大きな原因は、労働時間の割に所得が低いことにあると考える。運転手の所得の改善について、どのように考えているのか伺う。</p> <p>d 公共交通は地域づくりの重要な資源である。現状の限られた資源の中で、市民のニーズと観光客の利便性の向上を両立させるのは、なかなか難しいことと考えるが、市はどのように考えているのか伺う。</p> <p>e 飛行機利用の観光客の利便性の向上のため、空港連絡バスに交通系ICカード決済を導入する考えはないか伺う。</p>	

質問者	14 本田 一 勇
質問事項・質問内容	
(1) 令和6年度新しい観光・交流事業はどうなるのか	
<p>① 新出雲市ができて20周年になります。記念行事を具体的に教えてください。</p> <p>② 海外からのお客さんは、まだまだ少なくマスコミに出るような多さではありません。出雲に来てもらうアイデア、対策はありますか。</p> <p>③ 来年度末には、完成の「山陰高速道路」。西出雲から湖陵そして多伎までの間9.9kmが開通します。九州・四国・山口・広島県からの観光客が石見方面から、また東からも沢山の観光客が、下りてくださることを期待しております。一方では、逆に今まで下りていた人がそのまま通過するのではと、心配もあります。湖陵インター（仮称）や、出雲多伎インターで下りてもらう計画あるいは、アイデアはありますか。</p> <p>④ ハード面で一つ伺います。令和6年度の市長施政方針において、「日が沈む聖地出雲」について日御碕から多伎まで民間企業が活性化するように推進しますとなっていますが、多伎町久村地区では、海からの砂が、道路上に飛んで大問題になっています。今後も、砂は飛び続けますが、観光にとっては、大きなマイナスポイントです。どう改善するかお聞きします。</p>	

質問者	1 吉井安見
質問事項・質問内容	
(1) 災害対策の強化を	
<ul style="list-style-type: none"> ① 能登半島地震の出雲市への影響について伺う。 ② 能登半島地震の教訓をいかし、被害想定を見直し、地域防災計画を強化・拡充すべきと考えるが市の考えを伺う。 ③ 防災備蓄物資の充足と柔軟な配備を求めるが、市の考えを伺う。 ④ 避難所運営をはじめ防災計画などにジェンダー平等、災害弱者の視点を取り入れるべきと考えるが、市の取り組みを伺う。 	
(2) 原子力災害時の避難計画の再検証を	
<ul style="list-style-type: none"> ① 能登半島地震の影響で志賀原発でもトラブルが発生しているが、被害の全容を市としてどのように把握しているのか伺う。 ② 道路の崩壊や家屋倒壊が多発し、速やかな避難も屋内退避もできない状況となった。このことから、島根原発の避難計画の再検証が必要と考えるが、市の認識を伺う。 	
(3) 市民の困難に寄り添う相談体制の構築を	
<ul style="list-style-type: none"> ① 生活困窮者自立支援制度への対応について伺う。 ② 自立支援事業につなげる体制はどうなっているか伺う。 ③ 事業を市社会福祉協議会に委託しているが、委託先との連携の強化と合わせて、市役所内での庁内横断的な体制の構築が必要と考えるが考えを伺う。 	